

# 一、本会議の審議概要

○平成元年九月二十八日 木曜日

開会 午前十時二分

日程第一 議席の指定

議長は、議員の議席を指定した。

元議員源田実君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長からすでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。

特別委員会設置の件

右の件は、議長発議により、科学技術振興に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員二十名から成る科学技術特別委員会、公害及び環境保全に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員二十名から成る環境特別委員会、災害に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員二十名から成る災害対策特別委員会、選挙制度に関する調査のため委員二十五名から成る選挙制度に関する特別委員会、沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため委員二十名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

裁判官弾劾裁判所裁判員、同予備員、裁判官訴追委員及び同予備員辞任の件

右の件は、裁判官弾劾裁判所裁判員鳩山威一郎君、同予備員鈴木貞敏君、裁判官訴追委員遠藤要君、小山一平君、同予備員田辺哲夫君、鈴木和美君、諫山博君の辞任を許可す

備

九・二八 開会式

考

ることに決した。

裁判官弾劾裁判所裁判員等各種委員の選挙

右の選挙は、動議により、その手続を省略して議長の指名によること及び裁判官弾劾裁判所裁判員予備員、裁判官訴追委員予備員、皇室会議予備議員、皇室経済会議予備議員の職務を行う順序は議長に一任することに決し、議長は、次のとおり各種委員を指名した。

裁判官弾劾裁判所裁判員

世耕 政隆君

安永 英雄君

橋本 敦君

同予備員

齋藤 文夫君 (第二順位を第一順位に変更)

井上 哲夫君 (第二順位)

橋本 孝一郎君 (第四順位を第三順位に変更)

三治 重信君 (第四順位)

裁判官訴追委員

加藤 武徳君

坂野 重信君

山崎 竜男君

一井 淳治君

同予備員

北村 哲男君  
鈴木 和美君  
諫山 博君

皇室會議予備議員

下稻葉 耕吉君 (第一順位)  
久保田 真苗君 (第二順位)  
高井 和伸君 (第三順位)  
井上 計君 (第四順位)  
小西 博行君 (第五順位)

皇室經濟會議予備議員

長田 裕二君 (第一順位)  
山口 哲夫君 (第二順位)

檢察官適格審査會委員

初村 滝一郎君 (第一順位)  
山田 耕三郎君 (第二順位)

同予備委員

平井 卓志君  
福岡 知之君  
安恒 良一君 (福岡 知之君の子備委員)

国土審議会委員

高崎 裕子君 (平井 卓志君の予備委員)

瀬谷 英行君

近藤 忠孝君

新坂 一雄君

国土開発幹線自動車道建設審議会委員

井上 孝君

伊江 朝雄君

村沢 牧君

本岡 昭次君

北海道開発審議会委員

岩本 政光君

北 修二君

菅野 久光君

日本ユネスコ国内委員会委員

木宮 和彦君

粕谷 照美君

吉川 春子君

休憩 午前十時八分

再開 午前十一時一分

日程第二 会期の件

右の件は、全会一致をもって八十日間とすることに決した。

散会 午前十一時二分

○平成元年十月二日 月曜日

開会 午後一時三十一分

議員岩上二郎君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長発議により院議をもって弔詞をささげることになり、議長は、弔詞を朗読した。次いで、板垣正君が哀悼の辞を述べた。

休憩 午後一時四十二分

再開 午後二時一分

日程第一 一 国務大臣の演説に関する件

海部内閣総理大臣は、所信について演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後二時二十七分

○平成元年十月五日 木曜日

開会 午前十時二分

九・二八 衆議院会期議決  
(八十日間)

(衆議院)  
一〇・二 国務大臣の演説  
四、五 演説に対する質疑

議長は、新たに当選した議員野村五男君を議院に紹介した後、同君を運輸委員に指名した。

日程第一 國務大臣の演説に関する件（第二日）

安恒良一君、大島友治君は、それぞれ質疑をした。

残余の質疑は、延期することに決した。

散会 午後零時三十三分

○平成元年十月六日 金曜日

開会 午前十時八分

国家公務員等の任命に関する件

右の件は、宇宙開発委員会委員に久良知章悟君を任命したことを承認することに決し、

労働保険審査会委員に山田正美君を任命したことを全会一致をもって承認することに決

し、国家公安委員会委員に富田朝彦君を任命することに同意することに決し、公害等調

整委員会委員に南博方君、中央社会保険医療協議会委員に三藤邦彦君を任命することに

全会一致をもって同意することに決した。

日程第一 國務大臣の演説に関する件（第三日）

鶴岡洋君、小笠原貞子君は、それぞれ質疑をした。

休憩 午前十一時二十九分

再開 午後一時一分

休憩前に引続き、山田耕三郎君、橋本孝一郎君、山本正和君は、それぞれ質疑をした。

（予算委員会）

衆議院

一〇・一一、一二、一三、

一六、一七、一八、

一九、三一

参議院

一〇・二〇、二三、二四、

二五、二六、二七、

三〇

議長は、質疑が終了したことを告げた。

散会 午後二時五十三分

○平成元年十一月一日 水曜日

開会 午後五時一分

北海道開発審議会委員の選挙

右の選挙は、動議によりその手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は、菅野久光君を指名した。

日程第一 一 国家公務員等の任命に関する件

右の件は、検査官に矢崎新二君、科学技術会議議員に森亘君、宇宙開発委員会委員に曾山克巳君、運輸審議会委員に植木光教君、柳井乃武夫君を任命することに同意することに決し、公害健康被害補償不服審査会委員に黒川弘君、古川武温君を任命することに全会一致をもって同意することに決した。

お年玉付郵便葉書等に関する法律の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

電波法の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の両案は、日程に追加し、逡信委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、第一の議案は全会一致をもって可決、第二の議案は可決された。

散会 午後五時十分

○平成元年十一月八日 水曜日

開会 午前十時二分

元議員岩間正男君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長発議により院議をもって弔詞をささげることに関し、議長は、弔詞を朗読した。

特別委員会設置の件

右の件は、議長発議により、税制改革に関連する諸法案を審査し併せて税制に関する諸問題等を調査するため委員四十五名から成る税制問題等に関する特別委員会、土地問題及び国土利用に関する対策樹立に資するため委員三十名から成る土地問題等に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

消費税法を廃止する法律案、消費譲与税法を廃止する法律案、地方交付税法の一部を改正する法律案、税制再改革基本法案、法人税法等の一部を改正する法律案、通行税法案、物品税法案、入場税法案及び地方税法の一部を改正する法律案（趣旨説明）

右は、日程に追加し、本院議員久保亘君から趣旨説明があった後、大鷹淑子君、及川一夫君がそれぞれ質疑をした。

休憩 午後零時三十八分

再開 午後一時四十三分

休憩前に引続き、矢原秀男君、近藤忠孝君、古川太三郎君、足立良平君がそれぞれ質疑をした。



日程第一 所得税法及び租税特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送

付）

右の議案は、大蔵委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

散会 午後三時五十八分

○平成元年十一月十日 金曜日

開会 午前十時一分

日程第一 所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とベルギー王国との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

日程第二 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とインド共和国政府との間の条約の締結について承認を求めるの件（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の両件は、外務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、承認することに決した。

日程第三 公職選挙法の一部を改正する法律案（衆議院提出）

右の議案は、選挙制度に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

散会 午前十時七分

○平成元年十一月二十二日 水曜日

開会 午前十時一分

日程第一 土地基本法案（趣旨説明）

右は、石井国務大臣から趣旨説明があつた後、村沢牧君が質疑をした。

散会 午前十時四十二分

○平成元年十二月一日 金曜日

開会 午前十時一分

日程第一 森林の保健機能の増進に関する特別措置法案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の議案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、可決された。

日程第二 臨時脳死及び臓器移植調査会設置法案（衆議院提出）

右の議案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、可決された。

日程第三 昭和六十二年一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その

2）（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

（衆議院議決）  
一一・一七 土地基本法案（第百十四回国会閣法第六一号）

（修正）

（衆議院議決）  
一一・一五 防衛庁設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律案（第百十四回国会閣法第一三号）

日程第四 昭和六十二年特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（第一百十四回国会内閣提出、第一百十六回国会衆議院送付）

日程第五 昭和六十二年特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その2）（第一百十四回国会内閣提出、第一百十六回国会衆議院送付）

日程第六 昭和六十三年一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）（第一百十四回国会内閣提出、第一百十六回国会衆議院送付）

日程第七 昭和六十三年特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その1）（第一百十四回国会内閣提出、第一百十六回国会衆議院送付）

日程第八 昭和六十三年特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その1）（第一百十四回国会内閣提出、第一百十六回国会衆議院送付）

右の六件は、決算委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、日程第三、第六及び第七は記名投票をもって採決の結果、賛成一一八、反対一二五にて承諾しないことに決し、日程第四、第五及び第八は承諾することに決した。

日程第九 日本放送協会昭和六十一年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書

右の件は、通信委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、委員長報告のとおり是認することに決した。

議院運営委員長から参議院の組織及び運営の改革に関する協議会について発言があった。

散会 午前十時三十二分

○平成元年十二月八日 金曜日

開会 午前十時一分

国家公務員等の任命に関する件

右の件は、中央更生保護審査会委員に金平輝子君、日本放送協会経営委員会委員に三野博君、労働保険審査会委員に小田切博文君を任命することに全会一致をもって同意することに決し、電波監理審議会委員に生田正輝君、日本放送協会経営委員会委員に石田名香雄君、竹見淳一君を任命することに同意することに決した。

日程第一 地方交付税法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

右の議案は、地方行政委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

日程第二 へい獣処理場等に関する法律の一部を改正する法律案（社会労働委員長提出）  
右の議案は、社会労働委員長から趣旨説明があった後、全会一致をもって可決された。

日程第三 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第四 特別職の職員の給与に関する法律及び国際花と緑の博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第五 防衛庁職員給与法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

右の三案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、日程第三は全会一致をもって可決、日程第四及び第五は可決された。

日程第 六 裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第 七 検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第 八 出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の三案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、日程第六及び第七は全会一致をもって可決、日程第八は可決された。

国会議員の秘書の給料等に関する法律の一部を改正する法律案（衆議院提出）

右の議案は、日程に追加し、議院運営委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

散会 午前十時二十分

○平成元年十二月十一日 月曜日

開会 午後四時三十六分

日程第 一 消費税法を廃止する法律案（久保亘君外七名発議）

日程第 二 消費譲与税法を廃止する法律案（久保亘君外七名発議）

消費税廃止関連九法案の審議  
（参議院税制問題等に関する特別委員  
会）

- 一一・八 設置
- 一一・一〇 委員長、理事互選
- 一二・一五 趣旨説明
- 一二・一一 公聴会
- 一二・一一 可決

日程第三 地方交付税法の一部を改正する法律案（久保亘君外七名発議）

日程第四 税制再改革基本法案（久保亘君外七名発議）

日程第五 法人税法等の一部を改正する法律案（久保亘君外七名発議）

日程第六 通行税法案（久保亘君外七名発議）

日程第七 物品税法案（久保亘君外七名発議）

日程第八 入場税法案（久保亘君外七名発議）

日程第九 地方税法の一部を改正する法律案（久保亘君外七名発議）

右の九案は、税制問題等に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、日程第一乃至第三は記名投票をもつて採決の結果、賛成一三六、反対一一一にて委員長報告のとおり修正議決、日程第四、第五及び第七は委員長報告のとおり修正議決、日程第六、第八及び第九は可決された。

散会 午後六時十一分

○平成元年十二月十三日 水曜日

開会 午後一時一分

日程第一 国務大臣の報告に関する件（昭和六十二年年度決算の概要について）

右の件は、橋本大蔵大臣から報告があつた後、大淵絹子君が質疑をした。

日程第二 貨物運送取扱事業法案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

（参議院本会議）

一一・八 趣旨説明

一二・一一 可決（衆議院へ送付）  
（衆議院税制問題等に関する調査特別委員会）

一二・五 設置

委員長、理事互選

一二・一二 提案理由説明

（衆議院本会議）

一二・一二 趣旨説明

（衆議院議決）

一二・一二

昭和六十一年度一般会計  
歳入歳出決算

昭和六十一年度特別会計  
歳入歳出決算

昭和六十一年度国税収納  
金整理資金受払計算書

昭和六十一年度政府関係  
機関決算書

昭和六十一年度国有財産  
増減及び現在額総計算書

昭和六十一年度国有財産  
無償貸付状況総計算書

日程第三 貨物自動車運送事業法案(第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付)  
右の両案は、運輸委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、日程第二は可決、日程第三は委員長報告のとおり修正議決された。

公職選挙法の一部を改正する法律案(衆議院提出)

右の議案は、日程に追加し、選挙制度に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

土地基本法案(第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付)

国土利用計画法の一部を改正する法律案(第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付)

右の両案は、日程に追加し、土地問題等に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、第一の議案は委員長報告のとおり修正議決、第二の議案は全会一致をもって可決された。

散会 午後一時五十六分

○平成元年十二月十五日 金曜日

開会 午前十時三分

日程第一 昭和六十一年度一般会計歳入歳出決算、昭和六十一年度特別会計歳入歳出決算、昭和六十一年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和六十一年度政府関係機関決算書

日程第 二 昭和六十一年度国有財産増減及び現在額総計算書

日程第 三 昭和六十一年度国有財産無償貸付状況総計算書

右の三件は、決算委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、是認しないことに決した。

日程第 四 道路交通法の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回

国会衆議院送付）

日程第 五 地方公務員等共済組合法等の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提

出、第百十六回国会衆議院送付）

右の両案は、地方行政委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、全会一致をもって可決された。

日程第 六 農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案（第百十四回国会内

閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の議案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、全会一致をもって可決された。

日程第 七 国家公務員等共済組合法等の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提

出、第百十六回国会衆議院送付）

日程第 八 平成元年四月分から同年七月分までの扶助料に係る加算の年額等の特例に関

する法律案（衆議院提出）

右の両案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、日程第七は可決、日程第八は全会一致をもって可決された。



日程第九 前払式証券の規制等に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

右の議案は、大蔵委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

日程第一〇 私立学校教職員共済組合法及び昭和六十二年度及び昭和六十三年度における私立学校教職員共済組合法の年金の額の改定の特例に関する法律の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

日程第一一 教育職員免許法の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の両案は、文教委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、日程第一〇は全会一致をもって可決、日程第一一は可決された。

日程第一二 民事保全法案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

右の議案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、可決された。

日程第一三 国民年金法等の一部を改正する法律案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

日程第一四 被用者年金制度間の費用負担の調整に関する特別措置法案（第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付）

日程第一五 原子爆弾被爆者等援護法案（山本正和君外九名発議）

右の三案は、社会労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、可決された。

日程第一六乃至第三五の請願

右の請願は、災害対策特別委員長外五委員長の報告を省略し、全会一致をもって各委員  
会決定のとおり採択することに決した。

委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続するの件

右の件は、次の案件について委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続すること  
に決した。

#### 内閣委員会

一、行政情報の公開に関する法律案（参第一二号）

一、国家行政組織及び国家公務員制度等に関する調査

一、国の防衛に関する調査

#### 地方行政委員会

一、地方行政の改革に関する調査

#### 法務委員会

一、検察及び裁判の運営等に関する調査

#### 外務委員会

一、国際開発協力基本法案（参第五号）

一、国際情勢等に関する調査

#### 大蔵委員会

一、租税及び金融等に関する調査

#### 文教委員会

一、教育、文化及び学術に関する調査

社会労働委員会

- 一、育児休業法案（参第一一号）
- 一、社会保障制度等に関する調査
- 一、労働問題に関する調査

農林水産委員会

- 一、農林水産政策に関する調査

商工委員会

- 一、産業貿易及び経済計画等に関する調査

運輸委員会

- 一、運輸事情等に関する調査

逓信委員会

- 一、郵政事業及び電気通信事業の運営並びに電波に関する調査

建設委員会

- 一、建設事業及び建設諸計画等に関する調査

決算委員会

- 一、昭和六十二年一般会計歳入歳出決算、昭和六十二年特別会計歳入歳出決算、昭和六十二年国税収納金整理資金受払計算書、昭和六十二年政府関係機関決算書

- 一、昭和六十二年国国有財産増減及び現在額総計算書

- 一、昭和六十二年国国有財産無償貸付状況総計算書

一、国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査  
議院運営委員会

一、議院及び国立国会図書館の運営に関する件  
科学技術特別委員会

一、科学技術振興対策樹立に関する調査  
環境特別委員会

一、公害及び環境保全対策樹立に関する調査  
災害対策特別委員会

一、災害対策樹立に関する調査  
選挙制度に関する特別委員会

一、選挙制度に関する調査  
沖縄及び北方問題に関する特別委員会

一、沖縄及び北方問題に関しての対策樹立に関する調査  
土地問題等に関する特別委員会

一、土地問題及び国土利用に関しての対策樹立に関する調査  
外交・総合安全保障に関する調査会

一、外交・総合安全保障に関する調査  
国民生活に関する調査会

一、国民生活に関する調査  
産業・資源エネルギーに関する調査会

一、産業・資源エネルギーに関する調査

事務総長辞任の件

右の件は、これを許可することに決した。

事務総長の選挙

右の選挙は、動議によりその手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は佐伯英明君を指名した。

議長は、国会会の議事を終了するに当たり挨拶をした。

散会 午前十一時四分